

(京都市プレスリリース)



平成29年10月5日
総合企画局
市長公室広報担当
(TEL 222-3094)

第2シーズン
開幕直後の朗報!

平成KIZOKUが 最も権威あるCM賞で入賞



市政広報動画「平成KIZOKU」シリーズが、2017年の「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」において、「ACCファイナリスト」を受賞しましたので、お知らせします。※初受賞。

1 コンクールの概要

- (1) テレビ・ラジオCMの質的向上に資するため、一般社団法人全日本シーエム放送連盟（ACC）が、広告会社・制作会社等クリエイティブ業界を対象に開催。
- (2) 1961年（昭和36年）年から実施。本年は9月26日に入賞作品を発表。

2 審査・部門

- (1) 配信媒体等の形態等により、10部門に分けて実施。
- (2) 受賞した「フィルム部門Aカテゴリー」は、民間放送局で28年7月1日～29年6月30日に放送されたCMが対象。
※同AWARDSで最も権威があり、応募数が多い。
※「フィルム部門Aカテゴリー」の応募作品総数は1,139本。全応募作品の中から全国7地域で行われる「地域審査会」で20%を抽出。「全国一次審査」でファイナリストが決定し、「全国最終審査」で各賞が決定する。
※同AWARDSへの応募作品の総数は2,641本（部門別重複作品有り）。

3 賞

上位から「総務大臣賞／グランプリ（1本）」「ゴールド（10本）」「シルバー（10本）」「ブロンズ（22本）」「地域賞（7本）」「ファイナリスト（40本）」「地域ファイナリスト（98本）」の7種。

※グランプリは、住友生命保険の「1UP」が受賞。

※同じ「ファイナリスト」は日清食品やトヨタ等、大手メーカー等が広告主である作品が受賞。

※「ファイナリスト」以上での自治体CMの入賞は、京都市と宮崎県小林市のみ。

4 受賞した作品の概要

世界的なダンスチーム（トリックスター）が扮するキャラクター「平成K I Z O K U」が、インパクトのあるダンスと音楽で、市の主要施策や事業、京都の魅力を伝えるシリーズ。



中央市場編



保育が充実編



北部山間地域に移住編



みっけ隊アプリ編

(参考)

○ 全日本シーエム放送連盟

一般社団法人全日本シーエム放送連盟は、日本アドバタイザーズ協会、日本広告業協会、放送広告代理店中央連盟、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本民間放送連盟に参加している各社により、日本コマーシャルに関わる企業により構成される業界団体。元総務省所管。

○ ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS

1年間に放送されたコマーシャル作品の中から優秀作品を選抜し、毎年10月頃発表を行うコンテスト。作品選出基準としては、

効果性：理解や共感、生活への有用性

独創性：新鮮でユニークな表現

倫理性：社会倫理との整合性 等が挙げられている。

○ 過去の受賞作品

フィルム部門Aカテゴリーの「総務大臣賞/グランプリ」受賞作品。

2002年：キューピー「料理は高速へ」

2003年：サントリー・燃焼系アミノ式

2004年：ネスカフェ「朝のリレー・空」

2005年：ファンタ「そうだったらいいのにな」

2006年：ライフカード「カードの切り方が人生だ」

2007年：日立マクセルDVD「ずっとずっと。新留小学校編」

2008年：ソフトバンクモバイル「ホワイト家族」

2009年：サントリー「BOSS/宇宙人ジョーンズ」

2010年：梅の花「夜は夜の梅の花/旅館みたいだね/ちよど間」

2011年：九州旅客鉄道・九州新幹線全線開業「総集編」

2012年：トヨタ自動車「ReBORN」

2013年：ナイキジャパン「NIKE BASEBALL 宣誓」

2014年：サントリー「ペプシ NEX ZERO」

2015年：東海テレビ「自社キャンペーン 戦争を、考え続ける/総集編」

2016年：KDDI・au「三太郎シリーズ」